



たぬきも うかれる たぬき本

「山田守くんは
たぬきです」
(913イ) 市川宣子作
たぬきは2種類いるんです。
ばけられるたぬきと、ばけられ
ないたぬき。人間も2種類いる
んです。ただの人間と、たぬきが
ばけている人間。たぬきが人間に
ばけているのは、実は町の動物たち
を守るため。第1小学校(山田守
くんも、学校の動物を守るため
にやっています)にやっています。

「このはの
おかね、つかえます」
(913モ) 茂市久美子作
高原の小さなお店、ヤマキヤ。
たぬきは人間がおいしそうに
食べる、この店のソフトクリ
ムを食べてみたくて仕方ありま
せん。そこで母さんたぬきは、
葉をお金にかえて、こっそり
いに行きます。ところが、
店のおじいさんに気づかれて
「木の葉のお金は、つかえ
ません」とはり紙をさ
れてしまい...!?

「えっちゃんの森」
(913ア) あまんきみこ作
えっちゃんは小学1年生の
女の子。学校の帰りに、よび
とめられてふり返ると、そこに
はたぬきの男の子が。しかもそ
の子に手わたされた、たぬき
の「たぬきしんぶん」には、
なんとえっちゃんについて書
かれた記事と写真がのってい
て...。「たぬきがだいすきな
うめだえつこさん」って
一体どういうこと!?

「洲本ハだぬき
ものがたり」
(913キ) 木戸内福美文作
あか〜しむかし、淡路島
の洲本の町にはたくさん
のたぬきが住んでいました。
なかでも、戸じまりを水固り
する武左衛門など、有名な
8匹のたぬきがありました...。
人間とたぬきがなかよく
らしていたころの、とても
楽しい8つのお話。

「きこちゃん
とキコちゃん」
(913ク) 薫くみこ作
ピアノのおけいこをさぼって
野原でねころがっていたきこち
んは、きこちゃんによく似た女
の子に会いました。キコちゃん
の名前は、きこちゃんのこと
のまねっこばかり。腹の
立つたきこちゃんが早口こ
ぼで対抗すると、必死にま
ねようとする女の子に、
ぽこんっとしっぽが生
えて...

